



## 小学校にて雅楽演奏会開催

鹿児島別院本名出張所 矢野 和真

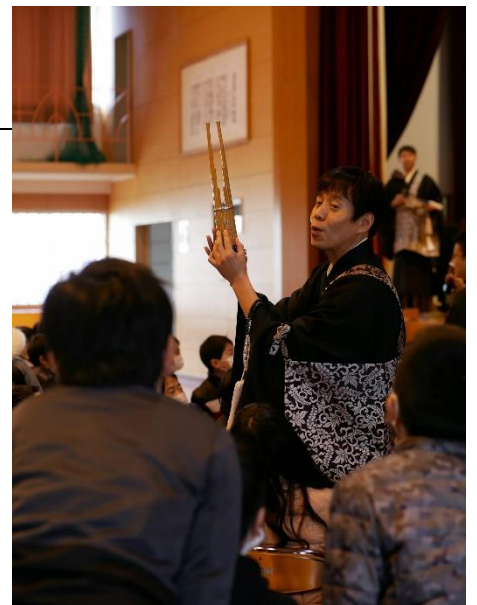


この度、出水市の高尾野小学校と野田小学校にて雅楽演奏のご縁をいただきました。両校共に生の雅楽を聴くことは初めてということ、多くの子どもや町内の方々にもご参加いただけたことは誠に嬉しい限りでした。今回は、子どもたちの授業の中で「越天楽今様」をされて

いるということもあり、古典の越天楽、そして越天楽幻想曲の2曲を含めた様々な曲を演奏させていただきました。子どもたちから「生の雅楽で聴く越殿楽といつも音源で聴いている越殿楽は全然違って鳥肌が立った。すごかった。」などの感想をいただき、雅楽の素晴らしさを伝えることができたことが何よりでした。

また、雅楽鑑賞以外にもそれぞれ各楽器の説明や子どもたちに楽器体験を行い、より雅楽を身近に感じていただきました。楽器に触れることによって、より思い出に残る内容になり、子どもたちの楽しそうな表情が見受けられました。

説明の際には、一般の方々にとって雅楽とは神社で演奏されているイメージが強く根付いているのが現状ですが、お寺でも雅楽はとて深く関わりのあるものだとことを知ってもらえた機会でもありました。



近年ではJ-POPやK-POPなど色々なジャンルを聴く子どもが多い中で、これを縁に少しでも子どもたちが雅楽に興味を持つてもらえたら嬉しいことです。

雅楽観賞会後日、子どもたちからの感想文もいただきました。どれもとても素晴らしい内容で、私たちの演奏を真剣に聴いてくれていたことが伺える内容ばかりでした。子どもたちをはじめ多くの方々に雅楽の素晴らしさを伝えることができたことは、私たち雅友会にとっても大変嬉しいことでもあります。

今回の企画のように、学校に伺っての演奏自体が中々ないご縁でしたので、子どもたちの感

出水の両小学校での演奏会の後、今度は曾於市の月野小学校からも演奏会のご縁をいただきました。

想文に「雅楽が好きになった。また来てほしい。」という言葉がとても嬉しく心に残りました。この度いただきました素晴らしい企画が今後も増えていき、更に多くの方々へ雅楽の素晴らしさを伝えることができれば有り難く思います。



この月野小学校は雅友会が学校訪問を始めた最初の小学校で、二〇〇二年以来16年ぶりの訪問でした。再び訪れることができたことをとてもありがたく思っています。たくさん子どもたちに音色と楽器も含め、日本古来の音楽、雅楽にふれていただける機会ができたことが、とてもありがたく、うれしく思っております。次はどこにご縁を結べるでしょう。呼んでいただけるよう精進いたします。

鹿児島島の三月とは全く比較にならない寒さのなか、最初の訪問先である名取市の仮設住宅へお邪魔しました。集会所には、10名ほど集まってくださいました。そこは、七月に閉鎖されていることが決まっており、入居されている方々は復興公営住宅や、統合される仮設住宅などへ転居

私にとって、初めて訪れる東北地方であり、初めて参加するボランティア活動です。飛行機を乗り継ぎ、仙台空港に着陸する際に窓から見えた景色は、私が思っているものとはかけ離れたものでした。新聞、テレビなどを通しての情報を自分の尺度で解釈し、復興もだいたい進んでいるものと、勝手にイメージしていた私は、目の前に広がる広大な更地を見て、申し訳ない気持ちになりました。

# 東北ボランティアを通して

川内組浄久寺 神田尚尋



されるそうです。皆さんとお話するなかで、報道されることが無かった震災の裏に隠れた、むごい窃盗などの被害を知りました。被災地に関して勉強不足の私は、気の利いた返事をすることも出来ず、ただ聞くことしか出来ません。現地に赴き生の声を聴くことの大切さを痛感した初日でした。



二日目は、私ともう1人のメンバーが初めての参加だったこともあり、当初の予定にあった山形方面の視察を変更してもらい、いったん北上して、陸前高田市から南下しながら被災した沿岸地域の現状を観ることができました。

流された線路跡や、プレハブの仮設市役所、未だ解体されていない巨大な廃墟。中でも印象に残ったのは、「津波水位5mメートル」と示された看板を付けたガソリンスタンドの看板でした。水位を表す矢印は、



ちようど看板の上端を指しています。

甚大な被害を受けた地区で、あらためて傷跡の大きさと復興までの道のりの大きさを考えさせられました。その後、気仙沼、南三陸町、石巻市と移動し、被災した寺院にお参りさせていただきましたことができました。

三日目の最終日は、午前中に仙台市の被災された寺院にお邪魔し、被災直後から現在までを、本堂に掲示された写真で観ることができました。また、実際に



お話しを伺うこともできました。本堂で読経し、お茶をこちそうになった後、最後の訪問先である名取市の閑上中央第一団地（復興公営住宅）へ向かいます。

今後の津波を想定して最上階の六階に設けられた集会所では、20名ほどの方と雅楽演奏を通して交流させてもらいました。

雅楽演奏の後、小さなケースに入った折り紙をいただきましたが、それはひとりの男性がひとつひとつ丁寧に折ったものだそうです。協力してくれた現地のスタッフの方に聞くと、私たちがのように訪れたボランティアのひとりひとりに、毎回用意してくれるとのことでした。

茶話会の際、その男性の「あのケースは、100円ショップでまとめ買いするんだよ。ふただけ残して、全部買うんだ。」という言葉が非常に印象的でした。すべて買い占めるのではなく、他の人のためにふたつ残すというその気遣いは、東日本大震災という、大変な経験をされたからこそ自然に出てくる助け



合いの心だと思えます。口数の少ない方でしたが、少ない言葉で「おもいやり」「ゆずりあい」の大切さを気付かせてくれました。

私には、とても勉強になる三日間でした。来年以降もボランティア活動に参加し、被災地の声を鹿児島に持ち帰りたいと思います。また、微力ながらも、より早い復興の為に私ができることを実践していきたいと思えます。

**雅友会結成60周年記念法要**  
**並びに 物故会員追悼法要**  
**9月4日(火) 15:00より**  
**鹿児島別院本堂にて**  
 どなたさまもどうぞお参りください

雅楽の演奏を聴いていただく  
 とともに、多くの方に雅楽器に  
 ふれていただく体験コーナーを  
 重視した内容で、行わせていた  
 できました。  
 広い敷地内に大小4か所のス  
 テージがあり、我々は一番小さ  
 いところでしたが、たくさんの  
 方が聞きに来てくださり、また、

5月19日〜20日に桜島にあ  
 る野外ステージで開催されまし  
 たウォークインフェス！201  
 8に、3年連続で今年も出演さ  
 せていただきました。



通りすがりにその音  
 色に引き寄せられる  
 ように立ち寄ってく  
 ださる方もいて、多  
 くの方と時間を共に  
 できたことをとても  
 ありがたく感じまし  
 た。  
 当日は、布袍に輪  
 袈裟のスタイルでし  
 たので、聞きに来て  
 くださった方は最初  
 若干の戸惑いを見せ  
 ながらも、最後は気  
 軽に話しかけて下さ  
 り、雅楽だけじゃな

## WALK INN FES! 2018

ウォークインフェス

く、僧侶に対しての距離も少し  
 縮まったかなと思います。お寺  
 に対しても、同じように思っ  
 てくれたらいいな。

今回は、鹿児島市電に今回の  
 イベントの特別仕様のラッピン  
 グ電車が走ったのですが、そこ  
 にも『鹿児島教区雅友会』の文  
 字が！いつまで走っているの  
 かな！？ラッピング電車を見つ  
 けた方は、『雅友会』の文字も探  
 してみてくださいね。



**★雅友会へのお問い合わせ**  
 鹿児島教区教務所内雅友会事務局  
 099-222-10051  
 (担当 片岡)  
 雅友会ホームページ  
<http://www.hongwanji->  
[kagoshima.or.jp/gayukkai/](http://kagoshima.or.jp/gayukkai/)